

津山市立喬松小学校のノート指導（算数科）についての取組 ～平成24年度津山市校内研修会公開推進事業「研究紀要」より抜粋～

校内で共通理解してノート指導に当たっています。【資料1・資料2参照】

①1時間の学習活動が分かりやすいノートのマニュアル作り

自分の考えや友達の影響、そして、授業のめあてに沿ってどのように自分が考えを進めることができたかを記録し、板書を写すだけでなくマニュアルをもとにして工夫した自分のノートが作成できるようにしたい。

②振り返って活用する体験

本時の課題解決を行う場合、似たような学習を想起し、自分のノートで振り返ることによって考えを進めることができることを目指している。そのためには、重要な項目を思い出しやすいように色や枠などを活用してノート作りをする経験を増やしたい。

③実態把握と意欲の喚起を行える算数日記

授業の終わりにはできるだけ「算数日記」を書くこととしている。次のような内容で振り返り、自由な吹き出しで書くことが多い。

- ・今日の学習で分かったこと、分かりにくかったこと。
- ・自分や友達の影響を見つけたこと。
- ・もっと学習したいと思ったこと。

児童一人一人の理解度を把握したり、また頑張ろうという気持ちを高めたりすることに有効だが、あまり時間がとれないのでできるだけ毎時間短時間で書くことができるように習慣化していきたい。

ノート指導の工夫

【資料1】

1 ねらい

- ① 思考の流れを明確にする。
- ② 友達に分かりやすく説明する道具にする。
- ③ 後で、自分で活用する。
- ④ (教師が、子ども理解をする。)

2 まとめ方

月 日 ()
目あて <input type="text"/>
問題 <input type="text"/>
問題理解のための絵・図等
式
自分の考え
友達の考えから学んだこと
目あてに対するまとめ <input type="text"/>
練習問題
算数日記 <input type="text"/>

ノートのまとめ方(例) ～見開き2ページにまとめよう～

6/5

問題

友達の考え

自分の考え

練習問題

まとめ・日記

○ 絵・図・数直線・表・グラフ
・言葉・式などを使って書こう。
○ 「考えた理由」 「気づいたこと」
「伝えたいこと」 「ちがうやり方」
などを書こう。

○ 大切な理由を書こう。
○ 「気づいたこと」「質問したいこと」
などをメモしよう。

○ 学習のまとめは赤い線で囲もう。
○ 「分かったこと」
「友達の考えでいいと思ったこと」
「次の勉強したいこと」
「不思議に思ったこと」
「これから気をつけたいこと」
などを、自由に書こう。

①

②

だんご図

6 - 2 + 5

テープ図

線分図 (1本)

線分図 (2本)

面積図

数直線

構造図

表

(正方形の1辺の長さと同積)

1辺の長さ	1	2	3	4
面積	1	4	9	16

言葉と式

まず、ぜんぶのえん筆の数からちがいの4本を引くと、 $36 - 4 = 32$ になる。
次に、弟のえん筆の数を求める。
 $32 \div 2 = 16$ になった。
最後に、兄のえん筆の数を求める。
兄のえん筆は弟より4本多いから、 $16 + 4 = 20$ だから、兄のえん筆の数は、20本である。

関係図